

## 「水道事業の経営状況と適正な料金水準」に関する意見

項目	意見（要旨）
管路整備、 経年管更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管路の更新を、限られた予算の中でどのような優先順位で取り組むのが最適なのかを考える必要がある、フューチャーデザインの出番である。</li> <li>・災害時に人が集まるところを優先的に更新することが非常に大切であり、コスト的な問題から年間8kmの更新ができない場合でもこの考え方は必要。</li> <li>・管路更新は優先度の考え方を整理する必要あり。吹田更新基準（60年）を経過した管路が8.6%あり、これは最優先で更新すべき。</li> <li>・今後10年で老朽管はさらに増えてくると考えられる。どれだけ更新を進めても経年化する管路が増えるため、どのように経済的に更新していくかの観点が必要。</li> <li>・料金収入の減少に加えて、大阪万博などによる建設費の高騰など工事費が増加する可能性もあるので、対策が必要。</li> </ul>
地下水利用 等専用水道 への対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水利用については、医療機関に対し災害対策の観点から国が支援する動きがある。地下水のバックアップとする場合を考えると、水道をあまり使用しない場合でも、大口径の管を維持することになり、固定費を回収できないという課題がある。</li> <li>・他市でも取組が始まっているが吹田市でも対策を考えるべき。</li> <li>・全国的に展開している医療機関があり、他市の事柄が影響する場合もあることから、適切に対応していく必要がある。</li> </ul>
水道料金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な支出に備え、安全でおいしい水を供給するためには相応の料金値上げも必要。</li> <li>・水道料金の値上げについては、北摂他市などの料金を参考にしながら、どの程度まで可能なのか考えられるのではないかと考える。</li> <li>・経済的に考えると原価割れしている部分から費用を回収するのがよいと考える。</li> <li>・大量に水を使用する企業としては逓減制料金になっていけばありがたい。</li> <li>・原価割れについては、水道使用者に水道料金でどのくらい負担していただくかという受益者負担の基本的な部分に関わる話であり、審議会として意見を整理できればと考える。</li> <li>・料金値上げが必要な状況は理解できるが、生活者の立場では生活への負担がさらに増すことになる。</li> <li>・料金収入だけでなく国等の補助金などによる収入の増加を考えることも必要。水道事業の経営の厳しさは吹田市に限らないことから、国に対し支援策を働きかけていくべき。</li> <li>・水道料金の値上げは避けられないが、市民への啓発活動が必要と考える。自治会等の小規模な場を活用してはどうか。</li> </ul>
財政規律の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転資金の確保についての考え方は、営業収益の約半年分の水準となっており、これでよいと考える。</li> </ul>
官民連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道法が改正されたが、吹田市では民営化については考えていないとのことで安心した。将来的にも民営化することなく事業を継続してほしいと考える。</li> <li>・国の政策に合致するものは、引き続き積極的に活用するとともに、他の事業体との連携を図っていく必要がある。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔から水が豊かな地域であった吹田を守るための意見が出せればと考える。</li> </ul>